



News Release

(別添)

2020年7月21日

NITE (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所

楽しいはずの「おうちごはん」で事故のおそれ

～台所用品による子どもの事故に注意！使い方を教えて、見守る～

1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度までの10年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で台所用品による子どもの事故は2件^{※2}ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 高齢者が被害者となった屋内の事故の県別の年度別事故発生件数（2010～2019年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2010年度		0	0	0	0
2011年度		0	0	0	0
2012年度		0	0	0	0
2013年度		0	0	1	1
2014年度		0	0	0	0
2015年度		0	0	0	0
2016年度		0	1	0	1
2017年度		0	0	0	0
2018年度		0	0	0	0
2019年度		0	0	0	0
合 計	事故件数	0	1	1	2
	火災件数	[0]	[1]	[1]	[2]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表 2）

表 2 台所用品による子どもの事故の県別の被害状況別事故発生件数（2010～2019 年度）※3

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	1	1	2
物的被害	拡大被害	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0
合計		0	1	1	2

※3: 表 2 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 台所用品による子どもの事故の主な事例

(1) ガスコンロを使用中、着衣に着火し火傷をした事故

・ 2013 年 8 月（福井県、男性、15～19 歳、軽傷）

【事故の内容】

ガスコンロを使用中、着衣に着火し、火傷を負った。

【事故の原因】

被害者が使用中のコンロに接近しすぎていたため、着衣に着火したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「コンロ使用中はコンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服がバーナに触れないように注意する」旨、記載されている。

(2) ガストーチ使用中にカセットボンベが爆発し周囲に居た子供が火傷をした事故

・ 2016 年 7 月（石川県、女性、5～9 歳、軽傷）

【事故の内容】

露店でガストーチにカセットボンベを接続して使用中、爆発を伴う火災が発生し、周辺を破損し、1 名が火傷を負った。

【事故の原因】

ガストーチを点火する際、点火ボタンを使用せず点火棒を用いて行ったため、自動的に一次空気取入口が開放されず異常燃焼が発生した。ガストーチを水の入ったバケツに入れ消火しようとしたが、消火できなかったためカセットボンベが加熱されて爆発に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「点火時はボンベを直立状態でガスを出し、トーチ本体の点火ボタンを押して点火する。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話：076-231-0435